
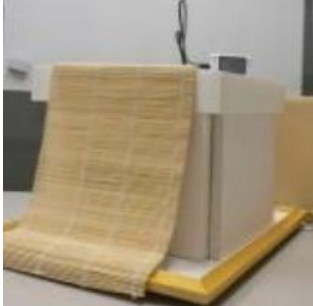
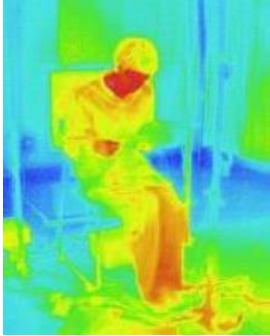


テーマ名	省エネで健康・快適に生活できる住宅のつくり方	
担当教員	室 恵子 教授	
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)	
内 容	<p>地球温暖化を抑制するには、住宅で消費されるエネルギー量を削減すること（省エネ）が重要です。しかし、省エネのためにがまんするような生活は、不快だけでなく健康をも損なう危険性があります。</p> <p>この授業では、冬(暖房)・夏(冷房)に、自然をうまく使って、あるいは、建物のつくり方や生活の工夫によって、省エネでありながら健康・快適に生活できる方法を学習します。</p> <p>また、建物模型を使った実験では、建物のつくり方の違い・工夫によって、室内の温熱環境にどのくらい差が生じるのか確認してみます。</p> <p>※大学見学では 「人工気候室」という温度と湿度がコントロールできる実験室で、いろいろな条件の温熱環境が体感できます。また、そのときの自分のからだの温度をサーモビューアー（熱画像）で確認できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。</p>	
写真・画像	 <p>壁の熱性能と室温との関係を見る実験</p> <p>壁や窓、日除けなどを選んで建物モデルをつくり、部屋の温度にどのくらい差ができるか、実験で確認します。</p> <p>模型を使った実験を生徒さんたちで行う場合には、1～1.5 時間くらい必要です。</p>	 <p>日除けの効果を見る実験</p>  <p>人工気候室内での暖房実験風景</p>
対象生徒	普通高校、工業高校（建築）の生徒	